



住民主体の移動・外出支援組織

～「ほっとらいふ」の事例紹介～

ほっとらいふ代表 梅田寛章

移動困難者の増加と、自治会主体の移動支援組織の設立

大阪府富田林市不動ヶ丘地区は大阪市のベッドタウンとして駅からは比較的近く利便性のある地域ですが、坂道が続きバスが走っていないため、ご主人を亡くされた方や免許証返納者など**自家用車を利用できなくて不便を感じている高齢者**が増えてきているのが現状です。



移動困難者の増加と、自治会主体の移動支援組織の設立



不動ヶ丘町では高齢化率が40%に近づく平成26年に**自治会**が母体となって「高齢者等生活支援プロジェクトほっとらいふ」を設立し、その中で移動・外出支援を行っています。年齢・要介護・障がい者等に関わらず**全住民**が対象です。



● 不動ヶ丘町の状況

- ・約40年前に山を切り開いて造成された坂のある住宅地
- ・市街地までは距離があるため、車がないと不便
- ・高齢化率の上昇により、移動に困難を感じる住民が増加

移動・外出支援の概要

予約に応じて**隣接する市町村**への通院・買い物のほか、銀行・美容院・お墓参りなど**高齢者のニーズに応える送迎をドアTOドア**で行っています。



車両は自前で購入した2台とボランティア（支援会員）のマイカーで行っています。

利用料はガソリン代のみで事前に購入したポイント券で支払います。

これらの仕組みは、市の道路交通課の呼びかけに応じて**住民主体の勉強会**を立ち上げ、学識経験者、コンサルタント会社を交えて決めていきました。

ほっとらいふの活動概要

住み慣れた地域で元気で長生き

1. 困りごとと支援
2. 憩いの場支援
3. IT支援
4. 移動支援



富田林市 不動ヶ丘町で自治会組織内のプロジェクトとして
上記の4項目を柱とした高齢者等の生活支援を行っています

移動支援開始後の実施事項



移動支援を開始後、事業収入を増やすため、また利便性向上のため、下記の取り組みを新たに開始しました

● 利用会員年会費の設定

● 新たな事業のスタート

(古紙回収事業、アルミ缶・スチール缶回収事業)



● 補助金申請

● 専用車の購入・利用



ご静聴ありがとうございました



ほっせらいふ

